



日本財団2019通常助成事業

医療的ケアに対応した 地域連携ハブ拠点のモデルづくり 事業報告書

実施事業

- 1) 子育て応援講座の開催
公開講座 3回、ワークショップ 5回 計 8回
- 2) 地域交流イベント
Kukuru+開所式・内覧会 (9/7・9/8)
- 3) 先進事例の視察
石川県 佛子園グループの施設 (西園寺、行善寺、シェア金沢)

1 子育て応援講座の開催

9月にオープンしたKukuru+（くくるプラス）が、在宅で医療的ケアを必要とする子どもと家族だけではなく、子育て世代の方々や地域の皆様との交流の場としてご利用いただきたいと考え、「子育て応援講座」を開催しました。

講演会形式の「公開講座」を3回、少人数でゆったりとした雰囲気子どもと一緒に受講できる「ワークショップ」を5回、計8回の講座を開催しました。

公開講座

	開催日	テーマ	講師
1	11/8	子どもの発達の後押しをするための工夫	矢崎 真一 氏
2	1/10	子育て中の親応援 ～ペアレント・プログラム紹介～	嘉陽 真由美 氏
3	2/6	しっかり咬んで美味しく食べよう ～発達期における食べる機能の獲得～	上地 智博 氏

ワークショップ

	開催日	テーマ	講師
1	11/22	親子のつながる遊び	又吉 文子 氏
2	12/6	ママも子どももにこにこになる ハッピー子育て	富名腰 清子 氏
3	12/20	栄養～安心して楽しくしっかり食べる～	赤嶺 朋子 氏
4	1/24	心とからだのリラックス ～親子マッサージなど～	富名腰 清子 氏
5	2/20	知って得する制度の話 ～保健師のお仕事って？～	崎原 真弓 氏 伊佐 歩希乃 氏 金城 のえみ

Kukuru+（くくるプラス）の
子育て応援公開講座のご案内

一般社団法人Kukuru+では、障がいを持つ子どもとその家族の支援を行っています。9月にオープンしたKukuru+（くくるプラス）では、在宅で医療的ケアを必要とする子どもと家族だけではなく、地域の皆様との交流の場としてご利用いただきたいと考えております。この機会から、ゆったりとした雰囲気の子育て応援講座を開催いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

【プログラム】

開催日	内容	講師	お申し込み
11月8日	子どもの発達と後押しをするための工夫 「育児実践に悩むお母さんです。相談相手や先輩ママに聞きたいこと、それではない本人の能力」 （発達支援士）	矢崎真一氏 特別支援教育士	お申し込み
1月10日	子育て中の親応援（ペアレント・プログラム紹介） 「子どもや発達障害について学び、子育てで悩んだときSOSの出し方、相談場所は？」	神崎 真由美氏 支援センターの職員	前年分
2月6日	「咬み食い（嚥下や咀嚼、噛むの工夫）」 「口腔ケアの知ること、解決できるかも知りませよ。歯科でつらくなる時の対応は？」	歯科医師 （小児科歯科医師会）	要予約

【時間】 各回とも午後2時～4時
【場 所】 Kukuru+ 1階研修室 郡原町216-17 ※Mr.KXNJO in こども医療センター1階107号室
【対象】 発達障害子育て世代の皆様
～定員～40名程度 ※定員を超えた場合は、抽選で決いたしますのでご了承ください。
【参加費】 無料
【駐車場】 沖原小児保健センター駐車場 ※抽選結果は連絡いたします。
【お申し込み】 10月31日（日）までに、下記のQRコード又は裏面の参加申込書（FAX）でお申し込みください。
【お問い合わせ】 発達支援センター 電話：029-222-1111
【主催】 一般社団法人Kukuru+

Kukuru+（くくるプラス）の
子育て応援ワークショップのご案内

一般社団法人Kukuru+では、障がいを持つ子どもとその家族の支援を行っています。9月にオープンしたKukuru+（くくるプラス）では、在宅で医療的ケアを必要とする子どもと家族、そして地域の皆様との交流の場としてご利用いただきたいと考えております。この機会から、ゆったりとした雰囲気の子育て応援講座を開催いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

【プログラム】

開催日	内容	講師	お申し込み
11月22日	親子のつながる遊び 「レインコートやカラフルボール、キラキラファンク」 「クマさんやクマさん、クマさんやクマさん」	又吉文子氏 （発達支援教育士）	要予約
12月6日	ママも子どももにこにこになるハッピー子育て 「ママさん、電卓の音に耳を流し、ママさん、ママさん、ママさん」	富名腰清子氏 （発達支援士）	お申し込み
12月20日	「栄養、安心して楽しくしっかり食べる」 「食のワンポイント情報～歯下や咀嚼、噛むの工夫」 「歯のケア～歯のケア」	赤嶺朋子氏 （発達支援士）	お申し込み
1月24日	「心とからだのリラックス」、親子マッサージなど 「リラックス～リラックスで参加していきましょう」	富名腰清子氏 （発達支援士）	お申し込み
2月20日	「知って得する制度の話」、保健師のお仕事って？ 「子育てで悩むお母さん、お母さん、お母さん」	崎原真弓氏 伊佐歩希乃氏 金城のえみ	HAND BOOK

【時間】 各回とも午後2時～4時
【場 所】 Kukuru+ 1階研修室 郡原町216-17 ※Mr.KXNJO in こども医療センター1階107号室
【対象】 発達障害子育て世代の皆様
～定員～親子10組程度 ※定員を超えた場合は、抽選で決いたしますのでご了承ください。
【参加費】 無料
【駐車場】 あり
【お申し込み】 11月8日（日）までに下記のQRコード又は裏面の参加申込書（FAX）でお申し込みください。
【お問い合わせ】 発達支援センター 電話：029-222-1111
【主催】 一般社団法人Kukuru+

公開講座1 2019年11月8日(金) 14:00~16:00

子どもの発達の後押しをするための工夫

講師 矢崎 真一 氏

合同会社ファーストハンドコミュニケーション 代表
言語聴覚士・特別支援教育士

矢崎さんのやわらかなお声と話し方に、会場の雰囲気はとても和やかでした。メインの内容はもちろん、矢崎さんの息子さんのエピソードに涙する方も。講座の後は、お茶会の時間も設け、子育てに奮闘する家族同士の交流に、矢崎さんが積極的に参加してくださっていたのが印象的でした。



公開講座2 2020年1月10日(金) 14:00~16:00

子育て中の親応援

～ペアレント・プログラム紹介～

講師 嘉陽 真由美 氏

沖縄県発達障がい者支援センター
社会福祉士・精神保健福祉士

「ペアレントプログラム」は子育ての不安を取り除けるよう、支援者と一緒に気持ちを前向きにする手法。自分の気持ちを「行動」で捉え直して、ポジティブに考えたり、次の目標を作ったりを、6回の受講でしていくものだそうです。今回は紹介とお試しだけとなりましたが、参加者からは「全部受けてみたい!」との声がたくさんありました。



公開講座3 2020年2月6日(木) 14:00~16:00

しっかり咬んで美味しく食べよう ～発達期における食べる機能の獲得

講師 上地 智博 氏

上地歯科医院 歯学博士

離乳食が始まったら、食べさせるときに気をつけた
いことを、発達の過程に合わせて、丁寧に解説してく
ださいました。先生から指定された「お菓子」を用い
て、ママたちがお互いに食べさせてみたり、咀嚼して
いる様子をお互いに観察したりと、自分の口で確認し
ながらの内容は、すごくわかりやすい！ 質問コー
ナーにはさらに具体的な話も出て、すごく盛り上がり
ました。



公開講座 参加者の声

11/8 子どもの発達の後押しをするための工夫

- 具体的な内容だった。すぐに役立つ、すぐに試そうと思える内容でした。
- 子どもの発達をうながすための工夫が具体的で、良かったです。親の表情など。
- 先生の体験と、専門的なことが聞けたことで、つながりやすく、イメージしやすかったです。
- 子どもの育て方や、接し方や、あまり知的な指数にとらわれなくて子育てをしたら良いんだなと思った。
- 気づかされるのが、いくつもあった。自分と違う視点で子どもたちを見ることができそう。
- 健常児を持つ親ですが、発達についてや子供の行動をよく観察してみる事、とても勉強になりました。また、障がいを持つお子さんともたくさん遊んで、いろいろな個性を持った友達がいることを知って、広い視野を持った子に育ててほしいと考えることができました。
- 子どもがダウン症なので、ダウンちゃんの親御さんからの貴重なお話を聞いて良かったです。どうしても子どもを大切に、丁寧に育てようと思っていることがあるので、意見が聞けたことも良かったです。いろいろ挑戦ですね。

1/10 ペアレント・プログラム紹介

- 現状把握シートを通して、自分のこと、子供のことが気づきました。シートにしてお隣と話すことで気持ちが楽になった。
- ペアレントプログラム、ぜひやってみたい。育児、家族に取り入れたいと思った。
- 書き出すことで、今の子育ての悩みなどが改めてわかった気がする。
- 他の人と一緒にできたので、いろんな意見も聞けて良かった。
- 皆さんの「自分自身」や「子供」に対して思っている、良いところ。努力しているところ、困っているところを聞いて、同じだ！！って思うところもあり、安心しました。

2/6 発達期における食べる機能の獲得

- 今まさに離乳食期なので詳しく学べて良かったです。本人の食べ方に合わせ、口の動きにも注目しながら続けていきたいと思います。
- 実際に実践して体験することができた。嚥下について細かくその機能を知ることができた。
- 嚥下だけでもいろいろな段階があり、手の反射や協調性も理解しながら、食事介助することが大切だと知りました。介助方法を、実践して教えてもらえてわかりやすかったです。
- 知っているようで知らないことが多かったのですごく勉強になった。上のお兄ちゃんたちが小さい時に聞いたかった。
- 子供が、そしゃくがあまり上手ではなくて、食事を上げるのにどうしたら良いのが、実際に口の中の動きを通して知ることができました。

ワークショップ1 2019年11月22日(金) 14:00~16:00

親子のつながる遊び工夫

講師 又吉 文子 氏

中部療育医療センター 医療保育専門士

親子で一緒にできる様々な「遊び」を体験しました。大きな布を使った遊びや、歌を歌いながらの遊びなどを、参加者のお母さんとお子さんが一緒に体験。お家にあるものでもできそうなことも多くて、とても勉強になりました。

始めの方では、大きな紙にみんなで絵の具をペタペタして遊んだのですが、それが講座が終わる頃には、とっても素敵な絵に仕上がっていて、感動しました！ この絵はKukuru+に飾っています！



ワークショップ2 2019年12月6日(金) 14:00~16:00

ママも子どももにこにこになるハッピー子育て

講師 富名腰 清子 氏

助産院ちゅら 助産師

今回は子どもたちではなく、お母さんお父さんが主役。子育ての大変さで沈んだりイライラしたりしがちな毎日を、前向きになれるような言葉や発想の仕方を知ってもらおうというワークショップでした。参加した方たちは、付箋やワークシートを使った内容に、最初は戸惑っている様子もありましたが、徐々に会話も弾んでいきました。

チラシに書いてあった「ママが笑顔になる、魔法の質問」の言葉通り、ママたちの笑顔がたくさん見られました！



ワークショップ3 2019年12月20日(金) 14:00~16:00

栄養～安心して楽しくしっかり食べる

講師 赤嶺 朋子 氏

沖縄県栄養士会 栄養士

参加したママたちの、離乳食が始まって出てくる悩みがいろいろ解決したようでした。バリエーションの増やし方や、あげるときに気をつけること、逆にここは心配しなくていいんだよ、というようなお話に、ママたちは大いに安心した様子でした。

沖縄県栄養士会が設置する「栄養ケア・ステーション」で作成しているオヤツのレシピをたくさん配布資料としていただきました。



ワークショップ4 2020年1月24日(金) 14:00~16:00

心とからだのリラックス～親子マッサージなど～

講師 富名腰 清子 氏

助産院ちゅら 助産師

今日はペアで行う内容が多かった分、参加しているママたちが、より一層仲良くなった気がします。ペアの二人の共通項を探すワークや、自分の未来を想像するワークでは、おしゃべりが止まらないペアばかり。そして、タッピングタッチでは、ママとお子さんの組み合わせはもちろん、ママ同士でもやってみたところ、とても気持ちよかったとの声。

WSの2回目にも登場して下さった、富名腰清子先生が、ママの心が軽くなるようにと考えて下さった内容は、今日も大好評でした！



ワークショップ5 2020年2月20日(木) 14:00~16:00

知って得する制度の話

～保健師のお仕事って?～

講師 崎原 真弓氏、伊佐 歩希乃氏 那覇市保健所 保健師
金城 のえみ 一般社団法人Kukuru 看護師

那覇市保健所の保健師さんにお越しいただき、子育てに役立つ、いろんな支援制度の話をお聞きしました。これを全部把握して、それぞれに合わせて助言ができる保健師さんはすごい、と思いました。後半は、改めてKukuruの活動紹介もさせていただきました。

講座が終わってからのゆんたくタイムでは、個別相談会のように保健師さんが参加ママさんたちそれぞれに声をかけてくださっていました。



ワークショップ 参加者の声

12/6 ハッピー子育て

- 他のママさん達ともたくさんお話しできたし、子育ての不安も話せてよかった。
- 初めての経験ばかりで心が軽くなりました。プラス思考になりました。
- 普段ほめる事、ほめられる事が無かったので、ほめ合うことで楽しく過ごせた。
- いろいろな意見が聞けて良かった。同じような不安を抱えているんだなと思った。
- 普段無意識に過ごしていることを、思い出したり、言葉に出したりすることがとてもよかったです。

12/20 安心して楽しくしっかり食べる

- 具体的な離乳食の進め方、あげるときの工夫の仕方やまだ家で実践していないことが判ってとても参考になりました。これからの離乳食が楽しみになりました。
- これから離乳食を始めるのでとても勉強になりました。あげるタイミングや増やし方なども分からなかったのが聞くことができて良かったです。
- 離乳食の内容、量などわかりやすい説明で、再確認できて良かったです。細かい具体的な話が聞けて良かったです。

1/24 心とからだのリラックス

- 子育てに没頭して、10年後を考える余裕もなかったのでもいい機会になりました。
- 日ごろ、子を通した話をする事が多いですが、私個人の話をしたり、相手のお母さん個人のことを知ることができ、個人を大切にもらえた気分です。
- タッピングも普段いやしの時間を取れないので、とても気持ち良かったです。家でも子供たちに寝る前にしたり、夫に頼んでやってもらいたいと思います。
- 自分がリラックスできました。気持ち良かったです。
- 二人組で情報を交換したり、リラクスマッサージをしたりして、普段しないことをして、刺激になりました。

2/20 知って得する制度の話

- 自分の知らなかった子育て支援の制度など聞くことができてよかった。
- 子育ての情報がたくさん聞けて良かった。事前の相談にも乗ってくれてありがたいです。
- たくさんの情報がもらえたこと、お母さんたちや子供同士の交流が生まれたことがうれしかったです。
- 他のお母さんとの交流、お話ができてよかった。くくるのサービス、素敵だなと思いました。
- 行政でどんな支援が行われているのかを知ることができました。

2 地域交流イベントの開催

一般社団法人Kukuruは、医療的ケアが必要な子どもとその家族が、在宅での介護生活を楽しく過ごせるよう、総合的に支援を行う拠点「Kukuru+(くくるプラス)」を建築しました。この施設で、これまでも行ってきた訪問看護・居宅介護・バリアフリー旅行支援の充実はもとより、退院移行支援・医療型短期入所・日中一時支援に新たに取り組んでいます。

1階に設けた交流スペースでは、地域の方々が集い学ぶ講演会やシンポジウム、その他季節の行事などを開催し、医療的ケアが必要な子どもとその家族が、地域で楽しく暮らせる場所をめざして、多様な方々と交流できる取り組みを展開していきたいと考えています。

そこで、このスペースを多くの方に知っていただくため、開所式と併せて内覧会を開催いたしました。

おかげさまで、内覧会は大盛況。医療や福祉の関係者だけでなく、これから利用者になるかもしれない当事者とその家族、そして、地域の方々と、たくさんの方にご来場いただきました。

医療的ケアが必要な子どもとその家族が、地域で楽しく過ごせる場所をめざして、これからも多様な方たちと交流していきたいと考えています。

はじめまして

医療的ケアが必要な子どもとその家族のための

沖縄小児在宅地域連携ハブ拠点

Kukuru+
くくるプラス

内覧会のご案内

2019
9/8
(日)

医療的ケアが必要な子どもとその家族が、地域で楽しく過ごせる場所をめざして、多様な方たちと交流していきたいと考えています。どうぞお気軽に見学にお越しください！

10:00~16:00の間
どなたでもご覧いただけます

●説明をご希望の方はスタッフにお気軽にお声かけください

医療型短期入所・日中一時支援・訪問看護・居宅介護
多機能型通所サービス (KAP)・バリアフリー旅行支援
障がい等研修ほか各種研修事業

那覇市字真地 216-17 Kukuru+

●沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 近く
●ローソン向かい、Mr.KINJO in こども病院前の隣

お車でお越しの方は、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの駐車場をご利用ください。Kukuru 発行の証明書を提示すると 100円でご利用いただけます (内覧会当日に限りです)

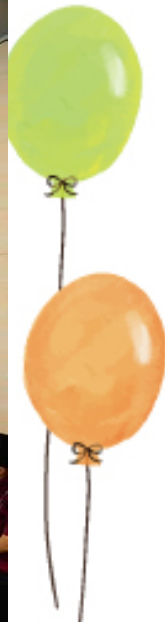
お問合せ (運営法人)
一般社団法人
Kukuru TEL 098-888-5996
e-mail: info@kukuruokinawa.com FAX 098-888-5997

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

この施設は日本財団「障がい子どもと家族を支える地域連携型」プロジェクトとして建設され、運営費の一部は財団が提供しています。



2019年9月7日（土） 14:00～16:00
 退院後も医療的ケア児とその家族が安心して暮らすための支援拠点
Kukuru+ 開所式



2019年9月8日（日）10:00～16:00
退院後も医療的ケア児とその家族が
安心して暮らすための支援拠点
Kukuru+ 内覧会



3 先進事例の視察

Kukuru+の1階交流スペースを中心として、地域で楽しく過ごせる場所、多様な方たちが集う地域の拠点とはどんな場所か。これからの地域の医療福祉のあり方を考え、取り組んでいくために、先進的な運営を行っている、石川県の「佛子園グループ」の施設を視察しました。

2019年7月12～14日

石川県 **佛子園グループ視察** (西園寺、シェア金沢、行善寺)

参加者：8名 (医師1、看護師4、相談員1、地域連携担当スタッフ2)



事業をふりかえって

2019年9月、私たちの新拠点施設がオープンしました。私たちはこの施設を、医療的ケアが必要な子どもとその家族だけが使うのではなく、医療や福祉の分野でがんばる人たちや、地域のさまざまな人たちが集い、いろんな出会いや支援が生まれる場所にしたいと考えています。今回、日本財団より助成をいただき実施した事業は、そうした思いを現実にするための「はじめの一步」でした。

しかし、「子育て支援講座」では、そうした思いが空回り、講座のラインナップを考える際、ずいぶん苦勞をしました。障がいがある子どものママと、障がいのない子どものママが、一緒に受けられて、どちらも満足できる内容でと、講師の候補や協力団体に説明すると、とても戸惑われました。一緒にするなんてとんでもない、どちらか一方を対象としてしか講義をしたことがない、という方がほとんどで、なかなか趣旨が伝わらず、中には開催の3日前にようやく講師が決まった回もあります。正直、それほどまでに分断されているとは、助成の申請段階では思ってもみませんでした。

障がいがあってもなくても「子育て」での悩みは同じようであって、きっとママ同士打ち解けられるはず。そういうコンセプトを信じて開催したことは、決して間違っていなかったと、終わった今なら胸を張って言えます。ママたちが回を追うごとに仲良くなっていく様子。同じ障がいを持つ子のママ同士が情報交換する様子。健常の子のママが「自分も何かしたい」「こういう場を続けていくことで差別がなくなると思う」といった感想を聞かせてくれたこと。それらを思い出すと、この講座を開催して、本当に良かったと思います。難しいリクエストに応えて引き受けてくださった講師の皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

新拠点施設の内覧会という形で開催した地域交流イベントも、医療福祉の関係者にこうした施設が誕生したことを知ってもらうだけでなく、「障がいに関係のない人」にも医療的ケアの必要な子どもについて知ってもらう良い機会になりました。

視察では、地域の中に「ごちゃまぜの空間」を作り、地域のコミュニティの再生に取り組む様子を実際に見ることができ、スタッフそれぞれに、私たちの拠点施設がめざすものを共有できました。

今回の助成事業で得た経験、ネットワーク、ビジョンは、これからKukuru+を運営していく基盤となったと思います。



日本財団2019通常助成事業
医療的ケアに対応した地域連携ハブ拠点のモデルづくり
事業報告書

編集 一般社団法人Kukuru
902-0072 那覇市真地216-17
電話 098-888-5996
発行 2020年3月
助成 公益財団法人日本財団

